

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和04年11月10日

計画の名称	枚方市駅周辺地区における安心・安全で快適に暮らせる市街地の整備と賑わい創出のまちづくり														
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当	○			
交付対象	枚方市														
計画の目標	公共施設が不足している市街地において、市街地再開発事業等により、老朽建築物の改善、公共施設整備の促進、交通結節点機能の強化等を行うことで、安心・安全で快適に暮らせる駅前周辺地区の市街地の形成を目指す。 また、駅近接の低未利用地において適正な高度利用を進め、地域特性を活かした都市機能の更新を図り、周辺市町の広域中心拠点に相応しいまちづくりを推進し、賑わいの創出を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		83,145	A	83,145	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31		R6
1	事業施行区域における、賑わいの創出			
	市街地再開発および駅前広場拡充に伴う交流人口の増加　まちづくりによる賑わいの創出 （市街地再開発区域への来街者数）	0人／日	人／日	11000人／日
2	事業施行区域における、防災機能の向上			
	事業施行区域内の老朽建築物の解消率　防災機能の向上 （老朽建築物解消率　＝　耐用年限の2/3を経過していない建築面積　÷　区域内の全建築面積）	27%	%	100%
3	事業施行区域における、防災機能の向上			
	対象区域内の消防活動有効率　消防水利包含による防災機能の向上 （消防活動有効率　＝　対象区域内の消防水利包含免責　÷　対象区域面積）	86%	%	100%
4	事業施行区域における、利便性の向上			
	路線バス乗り場の整着率　後退でのバス乗り場への停車削減による事故防止の向上、駅前広場の安心・安全の向上 （整着率　＝　北口駅前広場の整着可能なバス乗り場　÷　北口駅前広場の全バス乗り場）	25%	%	100%
5	路線バスのアクセス時間（乗車時間）の短縮			
	枚方市駅北口駅前広場から市立ひらかた病院までの路線バスのアクセス時間（乗車時間）の短縮率 （路線バスのアクセス時間（乗車時間）短縮率　＝　{　Σ乗車短縮時間（分）　÷　Σ現況乗車時間（分）　}　×　100	0%	%	25%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
計画の期間（事業期間）は6カ年ですが、システム登録においては2つに分かれます。（その　：H31～R5、その　：R6～R6）												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	枚方市	間接	枚方市駅周 辺地区市街 地再開発組 合	-	-	枚方市駅周辺地区第一種 市街地再開発事業	商業、業務、住宅、行政等 約2.9ha	枚方市	■	■	■	■	■	44,947	1.49	-
											小計						44,947		
道路事業	A01-002	街路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	改築	枚方市駅周辺地区関連街 路整備事業	駅前広場 約4,800m2	枚方市	■	■	■	■	■	3,904	1.49	-
											小計						3,904		
市街地整備事業	A13-003	市街地	一般	枚方市	間接	枚方市駅周 辺地区市街 地再開発組 合	-	-	防災・省エネまちづくり 緊急促進事業（枚方市駅 周辺地区第一種市街地再 開発事業）	施設建築物（商業、業務、住 宅、行政等）	枚方市				■	■	34,294	-	-
		当該事業（A13-003）の全体事業費は、A13-001の全体事業費の事業者（組合）が負担する費用を含む。																	
											小計						34,294		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						83,145		

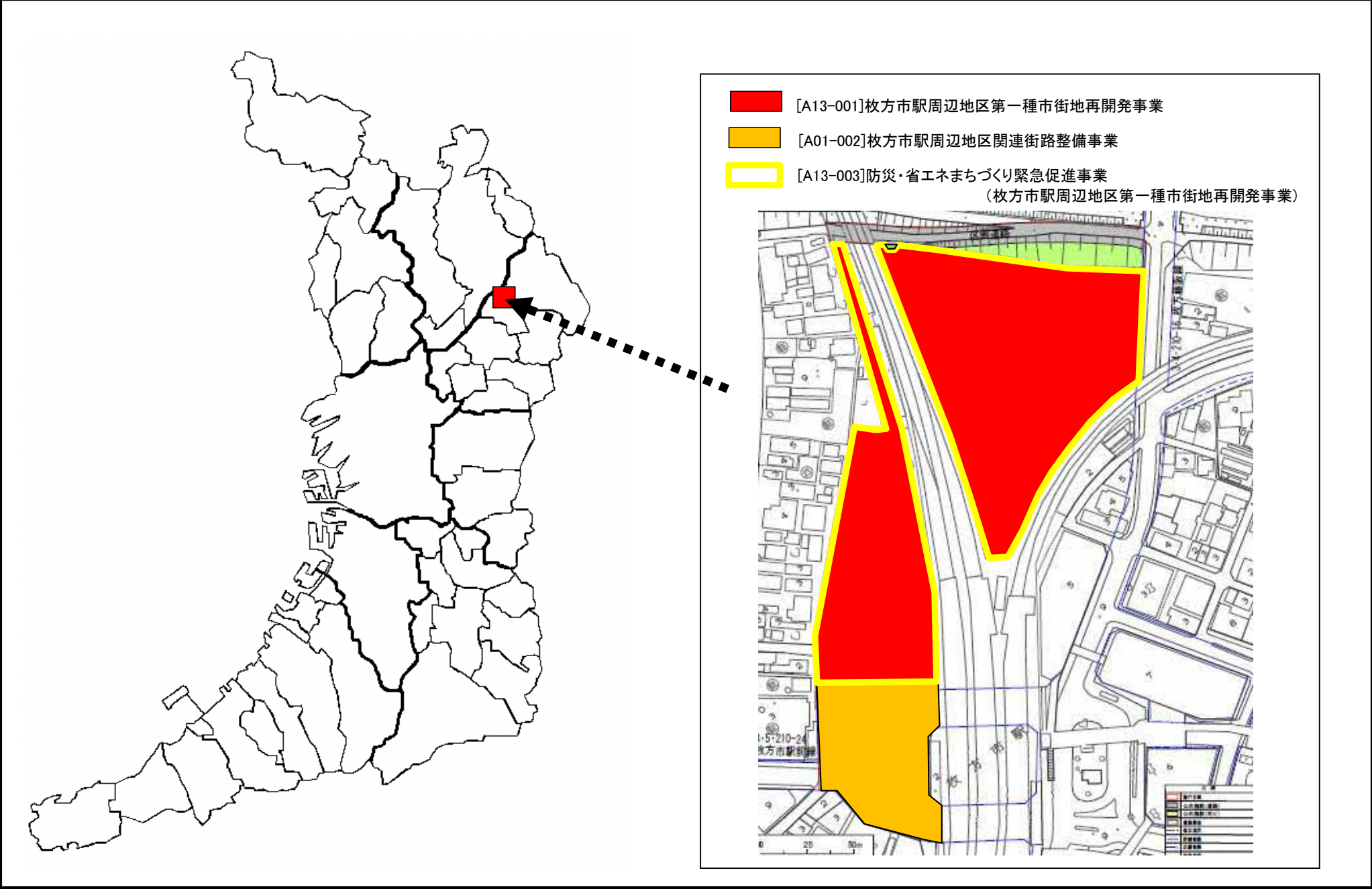
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	R05
配分額 (a)	336	1,208	1,001	890	2,945
計画別流用増 減額 (b)	0	61	0	20	0
交付額 (c=a+b)	336	1,269	1,001	910	2,945
前年度からの繰越額 (d)	0	336	1,269	990	720
支払済額 (e)	0	336	1,280	1,180	3,476
翌年度繰越額 (f)	336	1,269	990	720	189
うち未契約繰越額(g)	0	0	89	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	3.92	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	枚方市駅周辺地区における安心・安全で快適に暮らせる市街地の整備と賑わい創出のまちづくり		
計画の期間	平成31年度 ～ 令和5年度 (5年間)	交付団体	枚方市



事前評価チェックシート

計画の名称： 枚方市駅周辺地区における安心・安全で快適に暮らせる市街地の整備と賑わい創出のまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]